

貸借対照表

株式会社 レビックグローバル

令和 1年 12月 31日 現在

単位：円

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【 流動資産 】	【 200,556,963 】	【 流動負債 】	【 172,591,780 】
現金及び預金	164,428,160	買掛金	15,692,495
売掛金	16,336,412	1年内返済予定長期借入金	9,060,000
商品	3,539,583	未払金	35,069,838
仕掛品	1,891,293	未払費用	4,068,896
貯蔵品	34,405	未払法人税等	180,000
前払費用	12,245,516	未払消費税等	2,978,633
立替金	2,076,144	前受金	97,256,587
仮払金	5,450	預り金	2,785,331
【 固定資産 】	【 105,407,444 】	賞与引当金	5,500,000
(有形固定資産)	(3,702,322)	【 固定負債 】	【 12,855,240 】
建物附属設備	276,961	長期借入金	3,025,000
工具器具備品	3,425,361	退職給付引当金	7,876,788
(無形固定資産)	(91,482,601)	資産除去債務	1,953,452
ソフトウェア	73,017,313	負債合計	185,447,020
ソフトウェア仮勘定	18,465,288	純資産の部	
(投資その他の資産)	(10,222,521)	【 株主資本 】	【 120,517,387 】
敷金	1,302,000	資本金	60,000,000
長期前払費用	253,921	(資本剰余金)	(28,608,896)
子会社株式	3,687,482	資本準備金	28,608,896
その他	10,000	(利益剰余金)	(31,908,491)
繰延税金資産	4,969,118	その他利益剰余金	31,908,491
		繰越利益剰余金	31,908,491
		純資産合計	120,517,387
資産合計	305,964,407	負債・純資産合計	305,964,407

個別注記表

株式会社 レビックグローバル

自 平成 31年 1月 1日
至 令和 1年 12月 31日

重要な会計方針に係る事項

資産の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のないもの 移動平均法による原価法によっております。

たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品 ・ ・ ・ ・ ・ 最終仕入原価法に基づく原価法によっております。

仕掛品 ・ ・ ・ ・ ・ 個別法に基づく原価法によっております。

貯蔵品 ・ ・ ・ ・ ・ 最終仕入原価法に基づく原価法によっております。

(注) 貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切り下げの方法により算定しております。

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産を除く） ・ ・ ・ ・ ・ 定率法によっております。なお、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法によっております。

無形固定資産 ・ ・ ・ ・ ・ 定額法によっております。耐用年数については、法人税法上に規定する方法と同一の基準によっております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）、自社開発コンテンツマスターについては、経済的耐用年数（3年）及び残存価額（備忘価額）に基づく定額法によって償却しております。

リース資産（所有権移転外ファイナンスリース取引に係るリース資産）
・ ・ ・ ・ ・ リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

引当金の計上基準

貸倒引当金 ・ ・ ・ ・ ・ 受取手形・売掛金等の債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等の特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金 ・ ・ ・ ・ ・ 従業員の賞与支給に充てるため、支給対象期間に応じた支給見積額を計上しております。

退職給付引当金 ・ ・ ・ ・ ・ 従業員の退職給付に備えるため、期末における退職給付債務（退職給付に係る期末自己都合要支給額）の見込額に基づき算出した額を計上しております。

消費税等の会計処理

消費税および地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

当期純損益金額

当期純利益

21,137,790円